

手賀沼沿岸の遺跡をめぐって

～古墳、寺社、城跡を中心に～

手賀沼沿岸には、古代からの遺跡が多く分布し、特に古墳や城跡が同じような立地で存在しています。古墳についていえば、古墳出現期から前期の古墳もありますし、より新しい時代の古墳も手賀沼周辺にはあります。奈良平安の昔に開創されたという寺院もあれば、室町戦国期の城郭もあります。

また、東京帝大教授の坪井正五郎博士に地主が依頼した調査研究の成果を記念する「古墳之址碑」（明治33年（1900）に建立）が、今も柏市鷲野谷にあるのに象徴されるように、手賀沼沿岸の遺跡の調査・研究は早くから行われてきました。今回、手賀沼沿岸の古代からの遺跡について、実際に踏査した内容などを含め、その一端をご紹介しますと思います。



ヨタイ観音（柏市）



船戸古墳群：左、 水神山古墳：中（我孫子市）、 古墳之址碑：右（柏市）

日時： 2020年 1月26日（日） 13時～15時まで （12時30分開場）

場所： パレット柏 ミーティングルームE

柏市柏一丁目7番1-301号 Day One タワー3階

⇒ アクセス：柏駅南口より徒歩3分

講師： 当会より

費用： 300円（資料代など）

その他： 駐車場は隣接してありますが、有料です。

主催： 手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会

会誌「水辺の城」第3号
現在頒布中



神田 六一書房でも販売

【お問合せ先】

E-Mail： info@matsugasaki-jo.net TEL： 090-3579-5185 森 （平日は18時以降で）